

広 報

こうさ



【特集】第39回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会

冬の甲佐路を駆け抜けるアスリート

CONTENTS

- 02・巻頭特集 新年あいさつ
- 06・こうさの話題 上豊内区の魅力を案内板でP R
- 08・町からのお知らせ 70歳未満の高額療養費の自己負担限度額が変更
- 10・私のおすすめ図書 村上 律子さん（緑町区）
- 20・Kosa Style 食生活改善推進員・山本美知子さん（和田内区）

No.546
January 2015

1

地方創生に向けた活力ある 町づくりへの決意と実行を

町民の皆様、あけましておめでとうございませう。

皆様には明るい希望に満ちあふれた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろからの町政全般に対する温かいご理解と絶大なるご協力に厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、ソチ五輪での羽生結弦選手ら日本選手団の活躍やノーベル物理学賞での3人同時受賞など、世界の中の日本の素晴らしさについて再認識していただいた年と言えます。

本町の明るい話題としましては、甲佐中学校が県代表としてロボットコンテスト全国大会に初出場し、見事に準優勝を飾って本町の名を全国に轟かせてくれました。今年も県代表として出場が決定しており、さらなる活躍が期待されます。

ところで、ご承知のとおり、昨年12月に衆議院議員総選挙が行われ、その結果、与党の圧勝によって国政の舵取りがなされることとなりました。

今日わが国では、選挙の争点ともなった経済政策「アベノミクス」でのデフレ

脱却や消費税増税問題、女性の社会進出、TPP、エネルギー政策、地方創生、安全保障、震災からの復興、行政改革など、数多くの政策課題が山積しており、解決に向けた諸施策に大きな期待が寄せられています。

中でも「日本創生会議」増田レポートによって報告された「人口減少社会」の問題提起は、地方を震撼させる懸案事項であり、2040年には学校や社会保障や公共交通がもはや成り立たないという「消滅可能性都市」に本町も含まれており、今後、地方創生に向けた取り組みは喫緊の課題と考えます。

そういった中、今年は町政運営2期目の最終年を迎えるわけでありますが、町民の皆様が「甲佐町に住んでよかった」と誇りと愛着を持って心から口にしていただけるよう、なお一層、本町の個性を活かしたまちづくりに努めてまいります。また、平成27年においても行財政改革を強く推し進めて財政基盤をさらに強化しつつ、職員一体となって行政に課されたその役割を再認識しながら、「甲佐町第6次総合計画」を基盤に据えて引き続き

行政サービスの充実を図ってまいります。

そして、それらの改革や取り組みによって、①活力に溢れるまちづくり、②安心・安全なまちづくり、③健康と人を育むまちづくり、④協働で支えるまちづくりの4つの柱を基本とした33項目の政策目標の達成に向けて、今年も邁進してまいります。

特に、若者を中心とした「定住促進」を進めるための「子育て支援」のさらなる拡充や、東日本大震災に学んだ「災害に強いまちづくり」の推進について取り組んでまいります。また、「清流緑川」を抱える本町としては、環境保全にも力を注がねばなりません。



甲佐町長 奥名 克美

「地方創生」が叫ばれ自治体の地域間競争が激化する中ではありますが、新たな年を迎えるにあたりこれからは初心を忘れることなく気を引き締めて、町民の皆様から寄せられた大きな期待に応えるためにも町職員と一丸となり、共に汗を流して、今後も強い信念とあふれる情熱で「甲佐町再生・セカンドステージ」を継続してまいります。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導とご支援の程をよろしくお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして輝かしい良き1年となることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成27年の年頭にあたり、甲佐町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、新たな期待と希望をもって、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、町議会に對しまして温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年末、国においては、衆議院議員総選挙が行われ、再び自民党・公明党連立政権が支持され、アベノミクス効果による、地方再生が期待されるところで、

本町を見てみますと、基幹産業である農業は長引く景気低迷、後継者問題によって活力不足は極めて厳しい状況です。

また、商店街の疲弊など、商工業も危機的状況にあると思っております。

農業を中心とした産業の振興や緑川を活かした環境政策、子育て世代に優しい政策、教育政策の充実による甲佐の魅力を活かした定住政策などの取り組みに期待をしております。

町議会としましては、町執行部とともに「活力あふれる町づくり」に向け、全力で取り組みます。

本年2月には、任期満了に伴う町議会議員選挙が予定されており、町民の皆様への負託を受けた新しい議員による甲佐町議会が形成されますが、今後とも、ご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

町民の皆様にとりまして、実り多き年でありまことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

人は家庭で育ち 学校で学び 地域で伸びる

甲佐町教育長
赤星 眞照

新年明けましておめでとうございます。学校教育をはじめ社会教育において、地域の方々のご理解、ご協力、ご支援をいただいておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。

教育においては、昨今の学習意欲の低下、体力・運動能力の低下、ふるさとを愛する態度の未成熟、職業観・勤労感の乏しさなど多くの課題があります。

そんな中で、昨年12月に行われた創造アイデアロボットコンテスト九州大会において甲佐中学校が応用部門で優勝し、昨年度に引き続き全国大会に出場しています。子どもたちがスポーツ大会や文化関係の大会で活躍している状況もあります。



この21世紀を担う甲佐っ子が「花と緑と鮎の町」と表現される甲佐の恵まれた自然環境、そして豊かな人材を生かし、心身ともに健やかな子どもに育つよう甲佐の教育を進めているところです。

そのためには学校、家庭、地域社会がその役割を明確にし、それぞれが協力して豊かな社会体験や自然体験などのさまざまな活動の機会を子どもたちに提供し、自ら学び自ら考える力、すなわち「生きる力」をはぐくむ教育活動を展開すべきであると考えています。

そこで「人は家庭で育ち、学校で学び、地域で伸びる」のモットーに地域の教育機関、社会教育団体、生涯スポーツ団体、商工会、郷土史家、園芸農家、お年寄りなどと連携しながら子どもたちに豊かな体験活動を提供し、「生きる力」をはぐくむ活動を進めていきます。

今後とも、心豊かに健やかに子どもたちが成長するよう町部局と一体となって甲佐の教育を推進して参ります。

一般の部は寺田、国際の部はカレミ・ズクに栄冠

12月7日（日）第39回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会が開催されました。

町、熊本陸上競技協会、熊本日日新聞社、熊本バス株式会社、町役場前を発着点とする日本陸連公認コースで実施。5部門に695競技者がエントリーして熱戦を繰り広げました。正午の天候は晴れ、気温11・5度、湿度43%、北西の風1・0メートル。

10マイル一般競技者の部は残り100メートルで寺田夏生（JR東日本）がスパート勝負で競り勝ち見事優勝を飾りました。国際競技者の部は、折返地点の手前でカレミ・ズク（トヨタ自動車九州）が先頭集団から飛び出し独走しました。

高校男子10マイルの部は、村上将真（開新）、中学男子5マイルの部は田尻悠成（不知火）、女子5マイルの部は山麻緒（出水中央高）が優勝しました。

新人賞は一般の部優勝の寺田、敢闘賞は同3位の梶原有高（プレス工業）と高校男子部優勝の村上が獲得。女子敢闘賞は中学1・3位に与えられ、枝尾祐希（清和）、飯沼こころ（小国陸上ク）、飯田

怜（甲佐・仁田子区）が受賞。本町出身者が対象の地元競技者賞は、中学男子の部の戸高菜央亜（甲佐・有安区）、高校男子の部の梅本龍太（熊本工・和市内区）が選ばれました。

◆ 大会結果

- ◆ 10マイル一般競技者の部
 - ① 寺田夏生（JR東日本）46分33秒
 - ② 小西祐也（トヨタ自動車九州）46分35秒
 - ③ 梶原有高（プレス工業）46分36秒
- ◆ 10マイル国際競技者の部
 - ① カレミ・ズク（トヨタ自動車九州）45分51秒
 - ② アレックス・ムワンギ（YKK）46分45秒
 - ③ タイタス・ワロル（トヨタ自動車九州）48分35秒
- ◆ 高校男子10マイルの部
 - ① 村上将真（開新）30分17秒
 - ② 吉武佑真（鳥栖工）30分19秒
 - ③ 齋藤拓海（宮崎日大）30分19秒
- ◆ 中学男子5マイルの部
 - ① 田尻悠成（不知火）15分40秒
 - ② 奥村辰徳（同）15分41秒
 - ③ 山下龍一郎（宇土鶴城）15分49秒
- ◆ 女子5マイルの部
 - ① 山麻緒（出水中央高）16分26秒
 - ② 中村祐希（宮崎銀行）16分26秒
 - ③ 新地楓（同）16分52秒



- ◆ 写真右・熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会のスタート直後。10マイル一般競技者の部と国際競技者の部は同時スタート
- ◆ 写真左上・2ヶ所地点での先頭集団
- ◆ 写真左中・女子の部5マイルの部の1.5ヶ所地点
- ◆ 写真左下・各部門の優勝者（前列左から中学、高校、一般、国際、女子）と各賞受賞者（後列左から敢闘賞、地元競技者賞、女子敢闘賞）



駆けぬける風

第39回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会

12月7日（日）町役場発着・日本陸連公認コース



通報ルールを学ぼう

乙女小で110番の日体験学習会を開催

12月18日（木）乙女小学校（岡本秀夫校長 113人）で「110番の日小学生体験学習会」が開催され、同小児童などが参加しました。

同会は、毎年1月10日の「110番の日」にちなんで、子どもたちに110番の正しい利用方法や通報時の注意点を学んでもらうことを目的に、県警が実施。不審者に遭遇した想定で実際に通報する模擬体験や、防犯に関するクイズで、防犯に対する意識を高めました。

淀川未夢さん（6年・上田口区）は「緊張したけど体験できてよかった」と話しました。



▲110番通報して不審者の特徴を伝える模擬体験を実施

甲佐路を駆ける子どもたち

第39回甲佐ロードレース大会に106人が出場



▲全4部門106人の参加者は、町生涯学習センター前をスタート。豊内地区のコースを汗を流しながら一生懸命元気よく駆け抜けたロードレース大会



▲チームワークと作戦で優勝を飾った甲佐中チーム

ロボコン全国大会出場決定

甲佐中チームが九州大会で優勝

12月6日（土）・7日（日）長崎県で開催された第16回創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会で、甲佐中学校（加藤敬之校長257人）のチームが出場し活躍しました。佐野悠斗くん（3年・北早川区）、野口拓哉くん（3年・中早川区）、宮崎遥己くん（3年・上早川1区）、石原桜さん（1年・津志田区）、宮崎瞬くん（2年・上早川1区）のチームが、応用部門（参加48チーム）で優勝。1月25日（土）・26日（日）東京都で開催される全国大会への出場が決定しました。キャプテンの佐野くんは「甲佐中の新たな伝統を築くためにがんばります」と話しました。

12月7日（日）第39回甲佐ロードレース大会が開催されました。

同大会は、町教育委員会、甲佐町体育協会、甲佐町陸上競技協会が主催。町内の小・中学生を対象として、町生涯学習センター前を発着点とする2kmコースで実施。全4部門に106人が出場し力走を見せました。

●大会入賞者（敬称略）

【小学男子の部】①重永泰希（白旗小5年・北早川区）7分12秒②中川一樹（同小4年・糸田区）7分12秒③佐藤光亮（龍野小5年・下横田区）7分32秒
【中学男子の部】①井上拓実（2年・小鹿区）6分49秒②藤本裕人（2年・岩下2区）6分51秒③弓削律希（1年・横田区）6分52秒

【小学女子の部】①田上美悠（龍野小5年・中横田区）7分44秒②吉永聖羅（白旗小6年・八丁区）7分59秒③弓削楓音（甲佐小6年・横田区）8分1秒
【中学女子の部】①大瀧萌衣（1年・上早川2区）7分53秒②田上凜（1年・横田区）7分54秒③小永佳乃（2年・下豊内区）7分58秒

▼「やな場」などに設置された案内看板で史跡などを写真付きで紹介



今年5月から実行委員会を中心に、同区の史跡などを写真やイラストなどで分かりやすく紹介する「上豊内お散歩マップ」も制作。この冬、同マップを眺めながら名所旧跡をめぐるウォークラリーを開催する予定です。

活気あふれるマーケット

甲佐宮内冬のグラウンドバザールを開催

11月30日（日）宮内地区社会教育センターで、甲佐宮内冬のグラウンドバザールが開催されました。

同バザールは、同実行委員会（境国嗣会長）が主催。地域間交流を図るイベントとして、旧宮内小学校の校庭や校舎を利用して実施。

地元の特産品や手作り品、服や雑貨などの約36店舗が出店。つきたてのもちやぜんざいの販売なども行われ、冬の宮内の情緒あふれる会場は約800人の来場者でにぎわいました。



▲宮内地区社会教育センターの校庭や校舎に出そろった店舗

地区の魅力を案内板でPR

上豊内区「ふるさと再発見地図づくり」

12月1日（月）上豊内区（赤星照雄区長99世帯）で、同区の地域の名所旧跡などを紹介する案内看板を設置しました。同区の地域の魅力を町内外の人に知ってもらうとともに、魅力を後世に残すために、区民などが名所や史跡などを紹介した看板を制作。「やな場」など2か所に設置しました。赤星区長は、「予想以上に立派な看板ができてうれしです」と完成の喜びを語りました。

同区は、地域コミュニティの活性化と住民同士のつながりを深める「こうさんもん元気活動推進モデル事業」のモデル地区として、「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」活動を行っています。



▲全国大会でも活躍が期待される江藤選手

堅い守りで全国大会出場

江藤栄起選手（下横田区・秀岳館高3年）

11月15日（土）熊本市で第93回全国高校サッカー選手権大会決勝戦が行われ、江藤栄起選手（下横田区・秀岳館3年）が所属する秀岳館高が4年ぶり2度目の優勝を果たしました。決勝戦で同選手は、ディフェンダーとして出場。体を張った堅い守りで、対戦相手の東海大星翔高の攻撃を1失点に食い止めました。試合は、延長後半の終了間際に勝ち越し点を決めて、2対1で勝利。12月30日（水）から千葉県などで開催される第93回全国高校サッカー選手権に県代表として出場することが決定しました。

江藤選手の今後の活躍が期待されます。

国民健康保険

70歳未満の高額療養費の自己負担限度額が変わります

高額療養費制度とは、1か月に支払った医療費の一部負担金が一一定額を超えたときに、超えた部分を「高額療養費」として支給する制度です。自己負担限度額は、70歳未満と70歳以上と異なり、また所得によっても異なります。

平成27年1月から70歳未満の人の高額療養費制度の自己負担限度額や区分が変わります（下表参照）。なお、70歳以上の限度額には変更ありません。

●高額療養費の支給を受けるには

国民健康保険に加入する人が、高額療養費の支給を受けるためには、町住民生活課に申請する必要があります。

▶申請に必要なもの

- ・病院から発行された領収書
- ・印かん
- ・国民健康保険被保険者証
- ・世帯主の預金通帳（ゆうちょ銀行以外）

▶お問い合わせ先

町住民生活課

☎096・234・1113

（内線106・108）

✉klg106@town.kosa.lg.jp

■平成27年1月からの70歳未満の人の自己負担限度額（月額） ※基準総所得金額＝前年の総所得金額等－基礎控除33万円

区分	年3回目まで	年4回目以降
ア. 基準総所得額 901万円超	252,600円＋（医療費－842,000円）×1割	140,100円
イ. 基準総所得額 600万円超～901万円以下	167,400円＋（医療費－558,000円）×1割	93,000円
ウ. 基準総所得額 210万円超～600万円以下	80,100円＋（医療費－267,000円）×1割	44,400円
エ. 基準総所得額 210万円以下	57,600円	44,400円
オ. 住民税非課税	35,400円	24,600円

町住民生活課 ☎096-234-1113（内線106・108） ✉klg106@town.kosa.lg.jp

国民年金

■国民年金は支払いの制度

国民年金は、年を取ったときやいざというときの生活を、現役世代のみんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、年を取ったときや病気やけがで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる。

国民年金は、20歳以上の人が加入し保険料を納める制度です。国が責任を持って運営するので安定していますし、年金の給付は生涯に渡って保障されます。

年金は年を取ったときの老齢年金のほか、病気や事故で障害が残ったときに受け取れる障害年金や、加入者が死亡した場合、その

新成人の皆さんへ
20歳から国民年金



国民年金については町住民生活課へ

加入者により生計を維持されていた遺族（子のある配偶者や子）が受け取れる遺族年金もあります。

■保険料の納付猶予制度

●学生納付特例制度

学生納付特例制度は、学生の人は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される制度です。

対象者は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する人です。

●若年者納付猶予制度

若年者納付猶予制度は、学生でない30歳未満の人で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、保険料の納付が猶予される制度です。

国民年金のご相談・手続きについては、町住民生活課または熊本東年金事務所にお問い合わせください。

▶お問い合わせ先

町住民生活課

☎096・234・1113

（内線104）

✉klg206@town.kosa.lg.jp

熊本東年金事務所

☎096・367・2503

町住民生活課 ☎096-234-1113（内線104） ✉klg206@town.kosa.lg.jp

定住促進「緑町分譲地」

■「緑町分譲地」の10区画のうち、8区画の譲受人が決定

町では、地域の活性化と定住促進を目的として住宅用地「緑町分譲地」を整備しました。この分譲地は、甲佐小や町役場、病院、金融機関などに近く、主要な道路へのアクセスも良い住宅用地です。

第1・2回分譲募集では、10区画中8区画の譲受人が決定しました。

残りの2区画（左図「区画配置図」②・⑨番）について、第3回分譲募集にて譲受人を決定します。



■区画ごとの面積と分譲価格

区画番号	所在地	面積	分譲価格
②	緑町 275 番地 26	259.34 平方メートル (78.45 坪)	5,191 千円
⑨	緑町 275 番地 33	271.37 平方メートル (82.09 坪)	5,601 千円

※同日中に1区画に対して2人以上の応募があった場合は、後日抽選によって譲受人を決定します。
※2区画の譲受人が決定次第、募集を終了します。

✉klg102@town.kosa.lg.jp

☎096・234・1140

（内線226）

町総務課
▶お問い合わせ先

■第3回分譲募集は1月9日（金）から受付開始

1月9日（金）から残り2区画の受け付けを開始し、先着順受付（受付は日単位）によって譲受人を決定します。受付開始日より前に申請書類の提出はできませんが、受付日は開始日扱いとなります。

詳しくは、町総務課までお問い合わせください。

町総務課 ☎096-234-1140（内線226） ✉klg102@town.kosa.lg.jp

男女共同参画

■ドメスティックバイオレンス（DV）で悩んでいませんか

ドメスティックバイオレンス（DV）とは、配偶者や交際相手など身近な関係で起こる暴力のことで、あらゆる暴力を用いて相手を支配しようとする行為のことです。暴力は、殴る蹴るといった身体的暴力のみならず、精神的・性的暴力なども含まれます。

●こんな経験はありませんか

- ・殴られる・蹴られる（殴る・蹴る）
- ・子どもへの暴力をほのめかされる（ほのめかす）
- ・「出て行け」や「口答えするな」などと怒鳴られる（怒鳴る）
- ・付き合いや外出を制限される（制限する）
- ・外で働くことを禁止される（禁

ドメスティックバイオレンス（DV）は人権侵害です



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

止する）

- ・説教される・侮辱される（説教する・侮辱する）
- ・「別れると殺す・死ぬ」などと脅される（脅す）
- ・携帯電話や行動をチェックされる（する）
- ・中絶をさせてくれない・強要される

以上に当てはまる場合は、DVを受けている、あるいはしている可能性があります。

●1人で抱え込まず相談しましょう

DVは、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害です。いかなる理由があろうとも、暴力をふるっていい理由など存在しません。さらに、DVの事実を相談できず精神的に追い込まれることもあります。

さまざまな機関で相談窓口が開設されています。1人で抱え込まず、まずは相談しましょう。

▶ご相談・お問い合わせ先

町福祉課

☎096・234・1114

（内線143）

✉klg205@town.kosa.lg.jp

町総務課

☎096・234・1140

（内線241）

✉klg206@town.kosa.lg.jp

町総務課 ☎096-234-1140（内線223） ✉klg202@town.kosa.lg.jp

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶公民館主催講座のご案内

「町民大学」植木市見学

- 開催日時 1月27日（火）午前9時30分～午後3時
- 集合場所 町生涯学習センター
- 行き先 県農業公園（合志市）
- 参加費 無料（昼食は各自負担）
- 定員 50人程度
- 申込開始日 1月7日（水）

「たこあげ大会」

- 開催日時 1月17日（土）午前10時～
- 会場 中甲橋グリーンパーク
- ※各自たこを持参してください。雨天の場合は中止となります。
- お申し込み先 町教育委員会公民館事務局 ☎096-234-2447（内線321）

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局 ☎096-234-2447（内線321） ✉klg110@townkosa.lg.jp

て」の演題で講演を行い、相続に関する手続きについて受講者15人に説明しました。



▲相続などについて分かりやすく説明する講師の岡村さん

◀町民大学・講演会 相続や終活を考える

11月12日（水）町生涯学習センターで、町民大学を開催しました。講師の岡村泰さん（KK大成財産コンサルティング相談員）が「老後の不安を解消する相続や終活について」

12月9日（火）町生涯学習センターで、公民館主催講座「第3回絵手紙教室」を開催しました。講師の野口由美子先生（宇城市）の指導の下、年賀状を作成。「下手でもいい、

◀主催講座・絵手紙教室 絵手紙の年賀状づくり

ひよっとこ、来年の干支である羊の置物など、受講生が持ち寄った柚子やミカンなどをはがきいっぱいにゆつくりと筆を進ませ大胆に描きました。顔彩で色付けをすると、贈る人へ心のこもった豊かな絵手紙が完成し、「年始のあいさつの準備ができた」と参加者は喜びました。

相続財産は、現金や預貯金、家や土地などのすべての財産で、相続する場合は死亡後10か月以内に税務署に申告し相続税を納税しなければなりません。相続税の基礎控除が平成27年度から引き上げられることや生前贈与の場合、年間110万円以上は贈与税が掛かるなど、ためになる話に、参加者は「勉強になりました」と話しました。



▲講師の野口さんの指導の下、絵手紙の年賀状を描く参加者

「下手がいい」の絵手紙を、お正月らしいモチーフとしてお多福の面や愛嬌のある

Human Rights

人権～心豊かに暮らすために～

平成26年度甲佐町「人権週間」

●人権について町全体で考える

12月4日（木）～10日（水）、平成26年度甲佐町「人権週間」が実施されました。

同週間は、甲佐町「人権週間」実行委員会（豊永康法会長）、町、町教育委員会が主催。同和問題などのあらゆる人権問題の解決や基本的人権の尊重、町民の人権意識の普及と高揚を目的に、毎年実施しています。

期間中は、特設人権（法律）相談の開設、街頭や企業訪問における人権啓発広報活動の実施、書道や標語



▲町民集会で講演する飯開さん

など人権作品の展示などが行われました。

同週間のメイン行事として、12月6日（土）町生涯学習センターで、第32回甲佐町「人権週間」町民集会を開催。約170人が参加し、町内

の児童・生徒による人権作文や体験活動の発表などがありました。

人権講演会では、人権バンド「ゆう」のメンバーである講師の飯開輝久雄さんが「ほら、あなたのそばに人権を考えるきっかけが…」という演題で歌などを交えた講演を行い、集会の後には人権パレードも行っており、人権意識を高めました。

- 人権に関するお問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447（内線324） ✉klg110@townkosa.lg.jp

Library

町生涯学習センター図書室からの1月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

泥沼の日常を抜け出し新たな人生へ 奥田 英朗著 / 『ナオミとカナコ』



幻冬舎 小説

望まない職場で憂うつな日々を送る01の直美。夫のひどい暴力に耐える専業主婦の加奈子。30歳を目前にして、受け入れがたい現実に向きつめられた2人が下した究極の選択…。「いっそ2人で殺そうか、あんなの旦那」。共感してしまったらもう抜け出せない、ドキドキの連続で息が詰まるようなスリルを味わえるおすすめの1冊です。

食べ物の好き嫌いのある子におすすめ 塚本 やすし作 / 『やきざかなののろい』



ポプラ社 児童書

やきざかながきらいな男の子が、夕食のやきざかなを食べ散らかして食べたふり。これはよくない。そんなことするとやきざかなが、お風呂にも、寝床にも、外にも、どこでもついてきて、「きらいでくれー」というのです。やきざかなののろいはこわい…。すききらいのある子もいない子も読んでほしい、おもしろい食育の絵本です。

認知症の母への深い愛情が伝わる 岡野 雄一著 / 『ベコロスの母の玉手箱』



朝日新聞出版 一般書

映画にもなったベストセラー『ベコロスの母に会いに行く』第2弾。長崎を舞台に、認知症の91歳の母の「今」と「昔」を64歳の息子が漫画で描く。笑いあり涙ありの介護というところは前作同様ですが、今作は母・みつえさんの「人生」と「死」を描いています。淡々と描かれていますが、深い愛情と感謝の気持ちが詰まった1冊です。

50年の「熱い思い」を未来へ届ける 行吉 正一著 / 『東京オリンピックと新幹線』



青幻社 娯楽・教養

終戦からわずか19年の1964年、奇跡の復興を成し遂げた日本は、その証として東京オリンピック・パラリンピックを開催、東海道新幹線の開業を実現させ、世界中の人々を驚かせた。50年後の今こそ、先人たちの「熱い思い」を未来へつなげる。貴重資料をはじめ、写真や新聞など約450点収録。当時の感動秘話やこぼれ話なども楽しめます。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

先日、「この本はなかなか面白かったですよ」と人にすすめました。本当は「この本、すごい本ですよ！」と熱く語れたのですが、そこをぐっと我慢して。

この本に描かれているのは、社会の闇、人間の心の闇、弱さ、甘さ、醜さ、悲しさです。

平凡な1人の女が不幸の坂を転がり落ちていき、真っ暗な闇に捕まって、周りが見えなくなり、自分をも見失い、さらに深い闇に向かって落ちていきます。読んで

今月の案内人



村上 律子さん（緑町区）

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『絶叫』（葉真中 顕著）

涙、感動、驚き、どんな言葉も足りない1人の女の壮絶な物語。保険金殺人のからくり、孤独死の謎…。ラストまで息もつかない圧巻のミステリー。

いて気分の良いはずもなく、やりきれなさに苛まれ、疲弊してしまいます。

しかし、圧倒的なリアリズムに引き込まれ、ページをめくる手を止めることができません。そして、たどり着いた衝撃の真実に打ちのめされました。最後のページに描かれている美しい光景には、不思議なことに解放感と救いがあり、私は湧き上がる色々な感情を整理できず

混乱しながらも、深い余韻を味わいました。

そして、静かに本を閉じ、何気なく見た表紙に、息を飲みました。

そこには主人公の命の「絶叫」があったから。

本当にすごい本です。興味のある人は、覚悟してお読みください。



Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



森上 昇菜 くん (11か月)

父・和明 さん 母・真紀 さん
(芝原区)

お兄ちゃんと一緒に
元気いっぱい遊んでいます！



富田 莉愛 ちゃん (10か月)

父・真有 さん 母・歩美 さん
(芝原区)

カタカタだあーいすき♡
早く歩けるようになりたいな



入口 幸士 くん (3歳) 瑛斗 くん (10か月)

父・直幸 さん 母・伸子 さん
(中早川区)

元気いっぱい一緒に遊んでね♪

Child-Care

1月の子育て支援カレンダー

○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 若草保育園 ☎096-234-0013

16日(金) アンパンマンの福笑い

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 竜野保育園 ☎096-234-0519

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 乙女保育園 ☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 緑川保育所 ☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

○ 地域子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305

5日(月)	積み木遊び
7日(水)	散歩(七草遊び)
9日(金)	カルタ遊び
14日(水)	誕生会参加(要予約)
16日(金)	お絵かき遊び
19日(月)	戸外遊び
21日(水)	ままごと遊び
23日(金)	製作遊び
26日(月)	おやつ作り
28日(水)	ブロック遊び
30日(金)	折り紙遊び
育児相談(月～金曜日)	
体験保育(午前9時30分～正午)	

1・2月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+ 4か月児健診

1月15日(木) 午前9時

2月19日(木) 午前9時

+ 7か月児健診

1月15日(木) 午前10時

2月19日(木) 午前10時

+ 10か月児教室

2月6日(金) 午前9時30分

+ 1歳6か月児健診

2月3日(火) 午後1時

+ 2歳児よい歯の健診

2月27日(金) 午前9時30分

+ 3歳児健診

2月3日(火) 午後1時20分

+ B C G 予防接種

1月13日(火) 午後1時30分

- お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先 町総合保健福祉センター
 - 健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先
 - ・町総合保健福祉センター
 - ・町地域包括支援センター
- (町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8711
✉klg113@town.kosa.lg.jp

Health

町総合保健福祉センターからのお知らせ

あゆみだより 肝臓の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
高倉 美保 保健師

飲酒の機会が増えるこの時期、あなたの肝臓は弱っていませんか。過度の飲酒は、働き者の肝臓も機能が弱り、恐ろしい病気につながる可能性があります。健康のためにも肝臓を休ませ、アルコールと上手に付き合しましょう。

働き者の肝臓にも休息は必要 アルコールは適量を守りましょう

年末年始、皆さんいかがお過ごしでしょうか。忘年会・新年会シーズン、美味しいお酒を飲む機会が多いのではないのでしょうか。今日も飲んで、明日も飲んで、休まず明後日も飲んで…。気掛かりなのは、飲酒運転ばかりではありません。皆さんの肝臓が心配です。今月号は臓器の中でも静かにせつせとがんばる働き者の「肝臓」についてお話したいと思います。

❖ たくさん働きを持つ肝臓

皆さんは、「肝臓」がどんな働きをしているかご存知ですか。肝臓は、重さが1.5kgもある人体で最大の臓器です。さまざまな働きがありますが、その中で主

要な機能の4つをご紹介します。

① 代謝機能

食事を取った食べ物を、体内で利用できるように作り変える働き(これを代謝といいます)の中心的な役割を担っています。

② エネルギーの貯蔵

肝臓内にブドウ糖などを貯蓄し、いつでも補給できるようにしています。

③ 胆汁の生成

胆汁は肝臓の細胞で生成され、脂質の消化吸収を助ける役割や身体に不要な物質を排せつする役割などを担っています。

④ 解毒作用

身体に有害な物質を分解して「解毒」し、無害なものへ処理す

❖ アルコールの分解は肝臓に負担が掛かります

肝臓でのアルコールの分解には、かなりの時間を要します。個人差や男女差はあるものの、純アルコールにして1時間に約7gしか分解できないそうです。では、具体的に考えてみましょう。

● アルコール分解時間の例

缶ビール1本(350ml)と焼酎2合(25度)を飲んだとき、分解に掛かる時間はなんと約12・3時間にもなります。

また、ここでもう1つ問題なのが、アルコールの分解をしている

間、肝臓はその働きを優先するため、他の働きが後回しになってしまふことです。糖や脂肪の代謝が後回しになると、高血糖や脂質異常を引き起こしますし、それが脂肪肝を引き起こし、肝機能低下を招くことにもつながります。さらに、肝臓の酷使により肝細胞が破壊されると、肝硬変や肝がんの原因になることもあります。

こうして考えてみると、「毎日お酒を飲んでいるあなた」の肝臓は働きっぱなしです。そして、まだアルコールの分解が終わっていない間にまたアルコールを飲む。なんてこともしていないですか。肝臓はがんばって働いています。たまには休息も必要です。週に1日も休肝日を作って肝臓を休ませてあげてください。

❖ アルコールと上手に付き合って健康な肝臓を保ちましょう

アルコールは、適量であれば身体に良いとも言われます。身体にも肝臓にも優しい量のお酒を皆さんにも楽しんでもらいたいです。

アルコールの分解に掛かる時間やアルコールの適量などに興味のある人は、町総合保健福祉センターへお気軽にお尋ねください。

● お問い合わせ先

町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
✉klg113@town.kosa.lg.jp

お問い合わせ先一覧

- 町役場
☎096-234-1111（代表）
- 町教育委員会
（町生涯学習センター）
☎096-234-2447（代表）
- 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- 町水道管理センター
☎096-234-0755
- 町民センター
☎096-234-2459
- 町学校給食センター
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家
（社）甲佐町社会福祉協議会
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合
（クリーンセンター）
☎096-282-0688
- 上益城消防署
☎096-282-1955
- 御船警察署
☎096-282-1110
- 上益城広域連合
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局
☎096-282-2111
- 県御船保健所
☎096-282-0016
- 県庁
☎096-383-1111

お知らせ

町農業委員会委員選挙人名簿の登録申請を忘れずに

町選挙管理委員会では、町農業委員会委員選挙人名簿を、毎年1月1日現在で資格要件を備えている人の申請に基づき、資格を調査した上で作成します。

名簿に登録されないと、その後1年間にわたり町農業委員会委員選挙において投票できませんので、必ず申請してください。

資格要件

- ①本町に住所を有する人で、年齢が満20歳以上の人
- ②次の(ア)～(ウ)に該当する人
- (ア)10㍓以上の耕作の業務を営む人
- (イ)耕作の業務を営む人の同居の親族、またはその配偶者
- (ウ)10㍓以上の農地につき、耕作の業務を営む人

作の業務を営む農業生産法人の組合員、社員または株主のいずれかに当たる人でおおむね60日以上耕作に従事している人

お問い合わせ先

町選挙管理委員会事務局

（町総務課内）

☎096・234・1140

（内線223）

✉kg202@town.kosai.jp

町農業委員会事務局（町産業振興課内）

☎096・234・1176

（内線152）

✉kg207@town.kosai.jp

平成27年4月から火葬場が「寂静の里」に変わります

現在使用している御船町甲佐町衛生施設組合火葬場「妙見苑」（御船町）は、施設の耐用年数の経過により平成27年3月31日（火）をもって使用できなくなります。そのため4月1日（水）以降は、美里町の「寂静の里」

を使用していただきますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

施設名

寂静の里（美里町）

予約受付時間

午前8時30分～午後5時

火葬料金

12歳以上 10,000円

12歳未満 8,000円

死産児 6,000円

連絡先

☎0964・46・4063

※火葬の手続きは、従来と同様です。

お問い合わせ先

町環境衛生課

☎096・234・1169

（内線251）

✉kg210@town.kosai.jp

御船町甲佐町衛生施設組合

☎096・282・0688

平成27年2月16日（月）

申告相談が始まります

町では、平成27年2月16日（月）から所得税および住民

税の申告相談を行います。申告に必要な書類などの準備をお願いします。

必要書類

収入を証明できるもの

給与所得や公的年金のある人は源泉徴収票または支払

証明書、事業所得のある人は、必ず収支内訳書を作成

してご持参ください。

※平成26年1月から個人で事業などを行うすべての人

は、記帳と帳簿の保存が必要です。

●所得から控除する額を確認

できるもの

国民健康保険税や介護保険

料、後期高齢者医療保険料、

国民年金保険料、生命保険

料、地震保険料などの支払

証明書など

●申告期間

平成27年2月16日（月）～

3月16日（月）

詳しい行政区単位の日程は

後日お知らせします。

※還付のための申告書は、申

告期間前でも熊本東税務署に提出できます。

会場

町生涯学習センター研修室

●お問い合わせ先

町税務課

☎096・234・1112

（内線115）

✉kg105@town.kosai.jp

熊本東税務署

感染性胃腸炎の流行にご注意ください

感染性胃腸炎は、例年12月の中旬ごろに流行のピークを迎えます。今年は、10月中旬から増加傾向にあり、今後さらに急増することが懸念されています。

ノロウイルスに感染すると下痢、おう吐などの症状が出ます。通常1～2日で回復しますが、乳幼児や高齢者は、脱水症状を起こしたり、吐いた物を気管に詰まらせ肺炎を起こしたりすることがありますので、早めに医療機関を受診してください。

食事の前やおう吐物の処理

おれ

ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございます。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切に使用させていただきます。引き続き多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●ご寄付いただいた皆様

お名前 岩永 博美様 梶木 崇

平成26年度寄附金額合計

420,000円

●お申し込み・お問い合わせ先

町総務課

☎096・234・1140

（内線224）

✉kg102@town.kosai.jp

✉kg102@town.kosai.jp

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第20回～

「大原の地蔵尊」 本田 荘一 町文化財保護委員（上早川2区）

町内各地の通りや交差点には、多くの地蔵尊（地蔵菩薩）が奉られています。今回のコラムでは、由来の明らかな上早川にある「大原の地蔵尊」を紹介します。



「17世紀の初め、ススキの草原であった大原地域を開拓しようと、上大谷地域から守り神として、大原地域に地蔵尊を勧請した。十数年がたち村の基礎が出来たので地蔵尊を元の上大谷地域に戻そうとしたが、地蔵尊が村人たちの守りとしてこの地にとどまりたいと拒み、大原の地蔵尊として鎮座することになった。大正時代の初めのある日、村人が地蔵尊の前を通



●お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447（内線325） ✉kg110@town.kosai.jp

environmental preservation			
クリーンセンターへのごみ搬入量（11月分）			
種 別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	185,140	△16,170	920
資源ごみ	25,060	2,830	6,070
粗大ごみ	6,130	1,770	2,410
合 計	216,330	△11,570	9,400

※単位：㌔

traffic safety			
交通事故件数			
種 別	発生件数	前年比較	
事故件数	14	(△21)	
死 者	0	(△2)	
傷 者	17	(△24)	

12月15日現在（カッコ内は前年比較）

fire prevention			
出動火災件数			
種 別	発生件数	前年比較	
家 屋	0	(△1)	
原 野	0	(0)	
そ の 他	0	(△2)	
合計件数	0	(△3)	

12月15日現在（カッコ内は前年比較）

doctor		
日曜当番医		
月 日	当番医	電話番号
1月1日	桃崎整形外科	☎096-235-8111
1月2日	甲佐眼科	☎096-235-5600
1月3日	荒瀬病院	☎096-234-1161
1月4日	谷田病院	☎096-234-1248
1月11日	小屋迫医院	☎096-234-0165
1月18日	荒瀬病院	☎096-234-1161
1月25日	谷田病院	☎096-234-1248

tax		
町税などの滞納処分（11月分）		
種 別	件数・金額など	
家 宅 捜 索	1件	
動 産 差 し 押 さ え	1点	
不 動 産 差 し 押 さ え	2件	
交 付 要 求	1件	
公 売 代 金	28,061円	

第6回子ども議会を開催



11月25日（火）町議会議場で甲佐中学校（加藤敬之校長257人）の生徒16人が参加して、第6回子ども議会が開催されました。

中学生に本町の課題などについて考える機会を持ってもらうことを目的に、町が実施。参加生徒の中から選出された田島典伽さん（2年・津志田区）と宮崎龍くん（2年・山出区）が交代で議事を進行し、子どもの視点で考える町の課題について、町の活性化や通学路の整備などの意見や提案が町執行部に出され質疑応答が行われました。

甲佐町総合型地域スポーツクラブ

「I・YOU スポーツクラブ」
1月のアスボ・カレンダー

るな 月渚ちゃん
あさひ 昇陽くん
(仁田子区)
柔道教室
柔道楽しいよ！

●スポンジテニス&バドミントン

甲佐中体育館 月曜日 午後7時30分

●少年柔道

甲佐中武道館「甲心館」

月・水・金曜日 午後7時

●卓球

町生涯学習センター

水・金曜日 午後7時30分

第1・3土曜日 午後6時

●サッカー教室

緑川グラウンド 木曜日 午後7時

甲佐中グラウンド 土曜日 午前9時

●バスケットボール教室

甲佐中体育館 火曜日 午後8時

●ジュニアバスケット教室

甲佐中体育館 火曜日 午後7時30分

■お問い合わせ先

I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
(町教育委員会社会教育課内)
☎096-234-2447(内線325)
✉kg110@town.kosa.lg.jp

e 開催

県央地区合同公売会を
平成27年1月17日(土)開催

県では、県税・市町村税の滞納により差し押さえた家電・雑貨などを公売する県央地区合同公売会を平成27年1月17日(土)開催します。

・県央広域本部
☎096・325・3001
URL <http://www.pref.kumamoto.jp/>
・県央広域本部
☎096・325・3001
URL <http://www.pref.kumamoto.jp/>

②通報場所を正確に伝えてください。
①必ず止まってから通報してください。徒歩でも、移動しながらの通話は途切れることがあります。

○管轄の警察署・駐在所
御船警察署
☎096・282・1110
○警察相談電話
☎096・383・9110
○お問い合わせ先
御船地区防犯協会連合会
(御船警察署内)
☎096・282・1110

町生涯学習センター・ギャラリーモール展のお知らせ ～1月～

●新成人を祝う

▶期間 平成27年1月7日(水)～18日(日)
▶主催 甲佐町文化協会

●お問い合わせ先

町教育委員会社会教育課
☎096 - 234 - 2447 ✉kg110@town.kosa.lg.jp



12月の展示会
「甲佐中学校生徒の作品」

e 暮らし安全

年末年始における犯罪や
交通事故を防止しましょう

1月10日(土)は、110番の日です。110番は、緊急通報専用電話です。110番通報する際は、「何があったのか(事件か、事故か)」、「いつ(今か、何時ごろか)」、「どこで(〇〇町の△△で)」、「犯人の人数、着衣、逃走方向、車」、「被害者の状況、被害品」、「あなたの住所氏名、電話番号」などを、落ち着いて係員に話してください。

○管轄の警察署・駐在所
御船警察署
☎096・282・1110
○警察相談電話
☎096・383・9110
○お問い合わせ先
御船地区防犯協会連合会
(御船警察署内)
☎096・282・1110

さい。県境付近では、隣県警察につながる場合があります。③通話終了後は、しばらく電源を切らないでください。110番センターから、不明な点をお尋ねする場合があります。緊急事件・事故以外の用件は、管轄の警察署や交番・駐在所、警察相談電話をご利用ください。

▼緊急事件・事故以外のご相談先

r 募集

農地中間管理機構
農地の借受希望者募集中

(財)農地中間管理機構は、農業経営を縮小する人などから農地を借り受け、担い手農家などに貸し出ししています。機構から農地を借り受けるためには、機構の「借受け希望者の募集」にあらかじめ応募する必要があります。

▼募集期間

平成27年1月5日(月)～2月3日(火)

募集内容や応募方法については、県農業公社のホームページか、各市町村、JAの窓口にて備え付けのパンフレットをご覧ください。

▼お問い合わせ先

県農業公社
☎096・213・1234

新規就農支援研修生を募集しています

県立農業大学では、新たに農業を始める人を対象に、平成27年度新規就農支援研修生を募集しています。

▼研修実施期間

平成27年4月上旬～12月11日(金)

甲佐町道路整備計画

■町の道路整備の総合的な計画

町では、骨格道路から生活道路まで広域的な関連性を前提とした、効率的で透明性の高い道路整備事業の推進を図るために「甲佐町道路整備計画」を平成21年12月に策定しました。

この計画は、本町の道路整備の総合的な計画として基本的な指針となるもので、道路整備に関して客観的で定量的な基準を策定し、町民の日常生活に必要な安全性・利便性を確保するための道路整備を計画的に推進していくことを目的としています。

また、「どこに、どんな道路が、いつごろ必要か」を具体的にするため、評価基準により「道路整備5カ年計画」(平成22～26年)を策定しました。

■計画と評価基準の見直し

「計画」の策定期間が平成26年度で終了することに伴い、計画全体についても見直し、改定しました。

【主な改正点】

・町道の評価基準の見直し

①道路整備の重要性を確認する「車や歩行者・自転車

の通行に関する支障・危険性の判断」、「1日当たりの交通量」などの項目を追加。

②「財源」や「投資効果」などの項目の配点の見直し。

・農道の評価基準策定

各地域で策定が進められている「人・農地プラン」での具体的な位置付け、大規模化への取組計画や農産物のブランド化・戦略作物等の作付計画の有無、国・県の補助事業に採択可能かなどを重視。

・林道・作業道の評価基準策定

本町での林道・作業道開設は、用地の無償提供で実施のため、用地確保・協力体制に高配点を行い、補助事業の採択基準に合致する延長や利用区域面積、投資効果などを考慮。

・道路整備5カ年計画の策定

見直し・策定を行った評価基準により、町道に骨格道路4路線・生活道路6路線の合計10路線、農道に3路線を登載。

なお、「計画」については、地域の要望や実状、財政状況や事業進捗状況などに応じて、適宜見直しを行います。

●お問い合わせ先 町企画課 ☎096・234・1154(内線232) ✉kg104@town.kosa.lg.jp

●「道路整備5カ年計画」一覧

【町道】

	路線名	事業地(起点～終点)
骨格道路	松ヶ崎妙見谷線	乙女橋～糸田字日出来
	山出県道線	県道御船甲佐線(元白旗第一)～県道嘉島甲佐線
	大町塔ノ木線	中早川橋～広域農道
	(仮称)乙女橋御船線	松ヶ崎妙見谷線～御船
生活道路	上揚井戸江線	県道三本松甲佐線井戸江入口～井戸江集落～小鹿集落
	西寒野打越線	西寒野字千才丸～東寒野字尾北
	仁田子古川線	大町公民館付近～国道443号線
	世持麻生原線	世持集落～県道今吉野甲佐線
	下知行幸野線	上早川字下知行地内
	吉田県道線	吉田集落～県道嘉島甲佐線

【農道】

	路線名	事業地(起点～終点)
中山間地域 総合整備事業	東寒野農道	西寒野打越線～西寒野尾北線
	上早川農道	城平橋大谷線～大原滝水線
	船津集落道	県道今吉野甲佐線～麻生原谷線

Information

ひとの動き (敬称略)
11月11日(火)～12月10日(水)

birth	お誕生おめでとう				
住所	氏名	性別	保護者		
世持	志垣 蒼大	男	陽	水	
下横田	志垣 那智	女	太	一	
横田	田上 慶了	男	真	了	
有安	舩岡 義真	男	建	蔵	
有安	池上 絢香	女	直	樹	

marriage	ご結婚おめでとう				
住所	氏名				
〔夫妻〕	八代市 池田 教行				
〔夫妻〕	中横田 本田ゆかり				
〔夫妻〕	熊本市 松下 忠				
〔夫妻〕	早川 山本多佳子				
〔夫妻〕	世持 岡崎 光祐				
〔夫妻〕	宇城市 山形 恵				
〔夫妻〕	熊本市 村田 多聞				
〔夫妻〕	中山 大森 美紀				
〔夫妻〕	田口 松坂 有己				
〔夫妻〕	横田 西山 結				
〔夫妻〕	熊本市 木下 智之				
〔夫妻〕	横田 渡邊 麻美				
〔夫妻〕	宇土市 坂本 寛之				
〔夫妻〕	上早川 野仲 恵美				
〔夫妻〕	嘉島町 緒方 智裕				
〔夫妻〕	東寒野 井芹 亜美				

condolence	お悔やみ申し上げます				
住所	氏名	年齢	世帯主		
田口	東 金次	95	正 己		
豊内	村上 敏幸	84	洋 一		
上揚	志土富榮毅	84	美佐子		
上早川	山下 房子	104	捷 司		
岩下	渡邊 敬一	91	敬 美		
田口	竹村 享子	75	浩 二		
上早川	野仲キミ子	90	精 市		
豊内	坂口 吉文	65	喜代子		
津志田	池上 三雄	82	悌 子		
横田	田上ハル子	89	幸 一		

data 甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,357	△ 4
女	5,953	△ 3
計	11,310	△ 7
世帯数	4,283	4

平成26年11月30日現在

こうさの野菜で作ってみよう！

ししじ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）

おせちに「寒梅レンコン」

3存知ですか？

レンコンの1番の栄養分であるデンプンは、食べるコエネルキーとなり体を温めます。

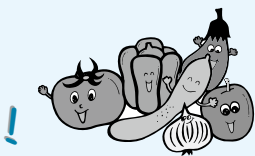
また、ビタミンCやビタミンB12、食物繊維も豊富です。そのため便通を良くし腸内の発がん物質を排出してくれるので、大腸がんや動脈硬化、高血圧などの予防に効果的な食品です。

消炎・止血的作用もあるので昔からせりそくの発作止めとしても用いられていたそうであふ。



材 料（4人分）

細めのレンコン ……10㍻くらい
明太子 ……約1腹分
酢 ……少量



作り方

- ①レンコンは3～4㍻に切り、傷を付けないように皮をむきましょう。
- ②レンコンの穴に沿って丸く切り込みを入れて、花のようにし酢水に浸けます。
- ③鍋に、半分くらいの水と酢を入れて火にかけます。②のレンコンを入れ沸とうしたら、弱火にして1～2分ゆでて水に取ります。粗熱がなくなったらザルにとり、立てたままにして水気を切ります。
- ④明太子は薄皮を切り、中身をしごき出して皿に取ります。
- ⑤レンコンの穴に明太子をトントンと叩きながら詰めます。
- ⑥3～4㍻に切って並べて盛り付ければ出来上がりです。

※レンコンは、両端を落として中をのぞくと反対側が見えることから「先を見通す」縁起物と言われるそうです。
お正月には、縁起のいいレンコンでお祝いしてはいかがでしょう。

編集後記

毎年1月10日は「110番の日」。12月18日（木）の乙女小学校「110番の日体験学習会」では、子どもたちや地域住民などが通報からパトカーが来るまでを模擬体験しました。

通報するときは「110番」ということは知っていても、実際に通報したことはない人がほとんどでしょう。初めて通報するときは緊張してうまく話せなくなるかもしれません。

そこで、通報の際大切なことがまず落ち着くこと。「なにが」、「いつ」、「どこで」起こったのかをしっかりと警察官に伝えることが重要です。それによって警察官の現場到着までの時間も短くなり、事件や事故の早期解決につながります。

年末年始は、事件事故が多発する時期です。新しい年を楽しく過ごすためにも、防犯には特に気を付けましょう。（み）



12月3日（水）放課後子ども教室「乙女小まつやま塾」で、くまモンと一緒に干し柿作りを体験する子どもたち

うたごよみ 睦月

〔短歌〕

渡辺幸士 選

愛犬と買い物しての帰り道ケイトウの花分けて頂く 赤星 文子
狭き庭の掃き上げられし黒肌にダリアひらひら重なりあえり 赤星 延子
隣り家の皇帝ダリア青空を仰ぐがごとくわが窓に見ゆ 塚本 俊子
木の葉散る下で真白きキャンパスに色おく人はかつての少女 塚原 暁益
野地蔵に誰手向けしかコスモスは彩とりどりに笑むがに咲けり 松本ぬい子
紅葉のあとは落ち葉で一面の絨毯となりまた楽めり 緒方 明美
久々の小春日和に干し物を布団に毛布大根までも 上村やす美
晩秋の軒に下がりし干し柿は小じわ寄せつつ甘くなりゆく 吉永由紀子
花畑のスモモの枝のほこりいて花衰えてドクダミほこる 上村 かず
阿蘇山も「噴火注意」のニュースあり御嶽山と重ねて見おり 内田乃武子
終了のチャイムに乗りて校庭に音符のごとく児らが出て来る 渡辺 幸士

〔川柳〕

「友達」

渡辺幸士 選

打ち明けて喜び会える友がいる 松本ぬい子
賀状書く友の面影追いながら 林 雅之
友達が揃い嬉しい忘年会 布田 愛子
病む友に自慢話は遠慮する 清川みどり

「好き」

好き好きと孫抱き締める祖母の顔 本田長久子
おみやげで旅を味わう酔い心地 伊豆野ヤエ
未来より平穏無事な今日が好き 古閑チヨミ
酔うと直ぐ踊り出すのも父譲り 早 彦喜
マシユマロが好き男で敵が無い 渡辺 幸士

〔肥後狂句〕

北川直美 選

今年こそ お帰りなさいめぐみさん 広田みどり
今年こそ 捧げる相手見つけないん 下山 千恵
今年こそ 足踏ん張って元気良く 松本 梅香
今年こそ むかししの服着ろごたる 志垣 光
今年こそ 老人会に入んなっせ 佐藤 葵
今年こそ 孫は嫁ってくるどか 北畑 公美
今年こそ 今年こそはで暮れとなる 木村 陽菜
今年こそ 酒の力でプロボース 布田かなな
今年こそ 綺麗に磨く窓ガラス 平井やよい
今年こそ 遅まき乍ら貰わんか 長原 産賀
今年こそ 捜し当てたい産みの親 北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・2334・2447（内線321）

おいしくヘルシーなレシピで 食の大切さを支えるボランティア

「健康の基本となる食生活の大切さについて、住民の皆さんにもっと知っていただくために活動の輪を広げていきたいです」と語るのは、甲佐町食生活改善推進員協議会会長の山本美知子さん（和田内区）。

「食改さん」の愛称で呼ばれ、ピンクのエプロンと三角巾がトレードマークの推進員は、「私たちの健康は私たちの手で」という目標の下、町民などの健康を目指して約20人で活動。おいしくヘルシー

にできるレシピを考え、食育の親子クッキング教室などを通して健康的な食事を地域に発信するボランティアや、毎月第1水曜日に町総合保健福祉センターの調理室に集まって、「自己学習会」を実施。健康テーマに沿って推進員が考えた旬の食材を使ったレシピを持ち寄って推進員同士で意見を出し合い、より体に良い食事や調理法を研究している。

山本さんは、「推進員同士とても仲が良く、おしゃべりしながら調理するのが楽しみです。意見を出し合い調理することでほかの家庭の味を知ることができるし、料理のベテランも多く、郷土料理のノウハウも知ることができると料理の幅が広がります」と会の魅力を笑顔で語る。「まずは、自分の健康や家族の健康を守り、そして町民の皆さんの健康を守るためにできることを目標にして、日々活動しています」とPRする。

同会では、バターや牛乳を使わない甘さ控えめで食べやすい「手作りクッキー」を考案。同センターで行われる健診などで広く町民に紹介している。山本さんは「味はもちろん、健康のことを第一に考えた愛情たっぷりのクッキーです。味は3種類あります。今後は、町の特産品のニラを練り込んだり、季節の食材を使ったりしたものを考案して、皆さんに喜んでいただけるものを作ることに挑戦したいです」と町民の健康のために意気込む。



山本 美知子さん
Yamamoto Michiko

〔甲佐町食生活改善推進員〕

会長の山本さん（写真・中央）を中心に推進員が協力してクッキーを考案。甘さ控えめでヘルシーなのが売り。